

JADCA NEWS

(一社) 日本空調システムクリーニング協会

発刊日

2026年1月吉日

第120号

1. 年頭にあたって



2026年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

2025年には、日経平均株価が最高値を更新するなど景気の良い話も聞こえてきました。しかし、この業界では、人件費の値上がりや人手不足、職人さんの高齢化などの色々な問題が逆風として立ちはだかっております。

しかし大変だ、大変だと嘆くだけではなく、この景気の波に乗っていこう！という気概を持っておきたいと思います。

景気の波に乗って業界も一緒に発展していくための手立てはいくつもあると思いますが、2026年の重点的な取り組みとしては、横の連携の強化と業界の魅力発信を考えています。

横の連携を強化することによって、これまで以上に労働力の補完関係を構築することができます。また、業界の魅力を発信することで、就労者の増加が見込めます。けつきよくのところ、人が作業をする業界ですので、どのように働き手を増やしていくかということを、しっかりと考えて参ります。

それと同時に、本来やるべきことをしっかりと続けていくことが業界団体の役割でもあります。「空調設備を清浄にすることで、室内空気環境の向上に寄与する」という日本空調システムクリーニング協会の本分を忘れずに、協会運営に取り組み、そのことによって、市場の発展、会員企業の発展、協会の発展を目指して参ります。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

日本空調システムクリーニング協会会長 清水晋

2. 活動報告 2025年10月～12月

日時	内容	会場
10月9日(木)	ダクト清掃作業従事者研修 2回目以降コース	オンライン開催(ZOOM)
10月15日(水)	ビジネスモデル委員会	新橋第一ビル会議室
10月15日(水)	勉強会 (株)アクシー フィルターの基礎知識	新橋第一ビル会議室
10月16日(木)	理事会	新橋第一ビル会議室
10月20日(月)	東西関東支部ボウリング大会	東京ドームボウリングセンター
11月5日(水)	東西関東支部合同ゴルフコンペ	ゴールド佐野ゴルフクラブ

11月6・7日(木金)	厨房排気設備診断士養成研修	オンライン開催(ZOOM)
11月15日(土)～18日(火)	マレーシア視察旅行 会員企業 HALTON㈱社見学	マレーシア クアラルンプール
11月26・27日(木金)	近畿中四国・九州合同支部会 会員企業 (株)プロメンテ見学	広島市
12月5日(金)	微生物汚染対策検討委員会	JADCA 新橋事務所
12月11日(水)	環境経営委員会	JADCA 新橋事務所
12月18日(木)	ビジネスモデル委員会	オンライン開催(ZOOM)

3. 活動予定 2026年1月～3月

日時	内容	会場
1月14日(水)	定時理事会	浅草文化観光センター
1月20日(火)	埼玉県「建築物衛生／建築物衛生管理研修会」花木専務理事講演	埼玉会館 小ホール
1月27日(火)	厨房委員会	浅草文化観光センター
1月29日(木)	ダクト清掃作業従事者研修 1年目コース	オンライン開催(ZOOM)
2月5日(木)	臨時社員総会	アートホテル日暮里 ラングウッド
2月19・20日(木金)	空調システム設備診断士養成研修	オンライン開催(ZOOM)
2月26日(木)	ダクト清掃作業従事者研修 2回目以降コース	オンライン開催(ZOOM)
3月5・6日(木金)	厨房排気設備診断士養成研修	オンライン開催(ZOOM)

4. 研修・講習のご案内

作業従事者向け

ダクト清掃作業従事者研修

第3号事業登録要件の一つに「空気調和用ダクト清掃作業に従事する者は、年一回以上全作業員が研修を受けること」となっております。作業従事者研修は社内研修でもよいということになっておりますが、JADCAでは、本研修を受けたものが社内研修の講師となるべきとの観点からと、各企業の代わりの集合研修として、知識、技術水準、最新情報等を確保する事を目的に開催いたします。また、JADCA認定の技術評価制度において、本研修の受講者が毎年いなければ減点対象としています。技術評価認定の会員企業はこの点もご留意下さい。

日程	内容	時間
1月30日(木)	ダクト清掃作業従事者研修 1年目コース	オンライン開催(ZOOM)
2月20日(木)	ダクト清掃作業従事者研修 2回目以降コース	



**会員企業 200 社 診断士 1000 名 達成プラン
JADCA 会員企業限定！2025 年度プラン**

会員増強プラン・・・会員企業 紹介制度

- ・1社紹介した会員企業には協力金として **10,000円の商品券** を提供します。
※入会時に紹介会員企業へ商品券の提供

診断士増強プラン・・・会員企業 特別受講制度

- ・正会員企業の方は年間で各養成研修厨房診断士1名、空調診断士1名の受講料を**無料**にします！！
※2025年度各診断士研修2回目のご案内

日時	内容	会場
2月19・20日(木金)	空調システム設備診断士養成研修	オンライン開催(ZOOM)
3月5・6日(木金)	厨房排気設備診断士養成研修	オンライン開催(ZOOM)

5. 支部活動のご報告



東西関東支部合同ゴルフコンペ

11月5日

ゴールド佐野ゴルフクラブ

優勝

(有)シンライズコーポレーション

小池様

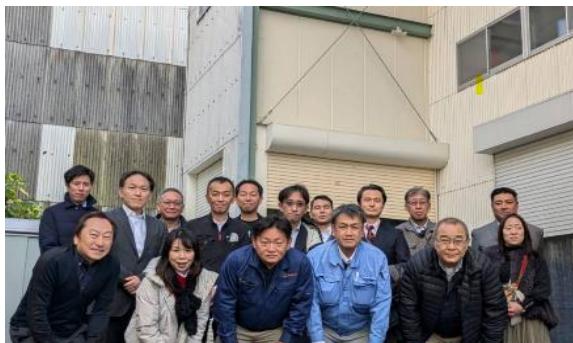


西関東支部合同ボウリング大会

10月20日

東京ドームボウリングセンター

優勝 (株)空調保全工業 菊部様



近畿中四国支部 支部会

11月26・27日

(株)プロメンテ小松社長様

会社見学では技術のご紹介を頂き

ありがとうございました。

大変お世話になりました。



九州支部 支部会

12月8日(月) アクロス福岡会議室

勉強会・懇親会

「建築認証システムの進化とその意義」

講師：池田耕一氏（工学博士）

6. 支部長 新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。2020年に始まったマスク着用習慣も昨年5月ようやく当社でも着用義務を解除しました。身近にシンプルに出来る対応でしたが、一方私達の主たる活動の場である日本の環境は①国力や政治劣化に依る「円安」と「物価高」②人口減と「少子化・労働力不足」③財政劣化と「税+社会保険トータルの負担増加」④特異な自然災害の増加等シンプルに一企業一業界で解決出来ない要素が目白押しです。一方日々建築設備を維持する為に活動する我々JADCAはじめ設備保守専門業界にとって幸いな事は「設備を捨てる代りに維持継続を優先する習慣や需要」が日本社会に根付いています。多くのJADCA企業が長年活動している様に、専門家として活動して、技術・知恵・スキルを蓄積し続け、失敗や欠陥を反省改良し、サービスや提案の質を上げ続ける、そんな「世の中の需要にシンプルに答え続けること」自体が必要十分な行動指針と言えるかもしれません。前に進み続ける企業同士が交流する中での意外な発見、ブレークスルーとなり得る経験etc様々な連携が出来る事はJADCAが元々持つ大きなメリットです。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

北海道支部 支部長 今井昭彦



新年、明けましておめでとうございます。
昨年の東北地方の経済状況は、設備投資意欲の維持や賃金上昇への期待から緩やかながら回復が見え、景気は小幅ながら改善傾向に有ったように思います。
省エネ規制の強化、補助金制度の後押しにより、東北地方の空調設備市場は堅調に推移すると見られ、古い設備の更新需要が高まれば、空調ダクトや厨房ダクトのメンテナンスも増えるのではないかと期待しております。
そんな中、JADCAでも少しずつですが会員企業や資格取得者も増え、昨年も東北支部会員企業が一社増えました。

「中央の盛り上がりを地方へ」私が常に思っている言葉です。
今年も横の連携を強化しながら会員や資格者を増やし、東北地方のダクト清掃を少しでも盛り上げていきたいと思います。
何卒、宜しくお願い申し上げます。

東北支部 支部長 大庭孝仁



JADCA会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。
昨年は1月1日に能登半島の大地震が発生するなど大変な年明けとなってしまいました。
10月には能登半島の復興を願い、社員旅行で七尾に行ってまいりました。復興も徐々に行われていましたが、倒壊したホテル、倒れたままで全く手の付けられていない家屋なども散見され、まだまだ復興途上だなといった印象を強く持ちました。

JADCA活動としましては東京消防庁から委託された一昨年からの火災実験を踏まえ、焼肉店等の火気器具上部の排気設備に関する条例が施行されました。業界団体のJADCAとしても大きな成果を上げた事例だと思います。
東京消防庁とは引き続き連携を取って、今後の活動を行っていく動きとなっています。

共に業界をますます発展させていきましょう!! 今年もよろしくお願ひいたします。

東関東支部 支部長 末光眞二



皆様 明けましておめでとうございます。
新体制で迎える3回目の新年です。昨年は、若手社員向けの懇親会や勉強会なども開催し、会員相互のコミュニケーションの活性化を図って参りました。支部の活動目的の一つである、会員企業の交流の促進という視点を忘れずに進めて参ります。本年も引き続きよろしくお願ひいたします。

西関東支部 支部長 清水



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
昨年は会員の皆様より多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。
2025年より支部長を拝命し、支部活動のさらなる活性化に取り組んでおります。本年は情報交換や研修機会を充実させ、業界の課題解決に向け、皆様の知見を結集し、共に成長できる支部を築いてまいります。会員の皆様と共に、より価値ある活動を推進していく所存ですので、引き続きご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

北陸東海支部 支部長 平井幹人



明けましておめでとうございます。

昨年の活動ですが、1月に懇親会 6月には大阪にて定時社員総会～万博見学また 11月には広島の(株)プロメンテ様の社屋にて九州支部との合同支部会開催と活発に交流をさせて頂きました。特筆させて頂きますがプロメンテ小松社長及びスタッフの皆様方には会場の設営及び工場内でのダクト清掃実演設備の新設等、ご尽力を賜りこの場をお借りして感謝申し上げます。本当に心のこもったワクワクした素晴らしいお時間でした。

もちろんその後は懇親会で大いに意見交換を交わし翌日は社会見学会と全国規模でお声がけをすれば良かったと思えた内容でした。

今後、この様な企画がリモートも含め活発に開催されれば会員企業間でより良い化学反応が起きればと強く感じました。

本年もよろしくお願ひいたします。

近畿中四国支部 支部長 木下浩之



新年あけましておめでとうございます。

本年の干支である丙午（ひのえうま）は、勢いよく広がる火の気を象徴し、新たな挑戦、発展に向けた力が高まる年と言われております。私たち九州支部においても、会員同士のつながりの強化、支部内の活性化を図り、協会の発展と成長へ努めてまいります。

何卒ご協力賜ります様、本年もどうぞ宜しくお願ひ致します。

九州支部 支部長 佐々木良信



JADCA マレーシア視察ツアーハイライト

JADCA マレーシア視察ツアーが開催され、倉渕先生を団長、柳先生を副団長として、総勢 19 名が参加いたしました。

視察では、会員企業である『HALTON 社様の現地製品工場』を訪問し、『E Q ホテル』設備管理者様による実態説明会、『E S G センター K L』の訪問など、充実したスケジュールが組まれました。

また、世界遺産の街「マラッカ」、ヒンドゥー教の聖地「バトゥ洞窟」、国王公邸「イスタン・ネガラ」、超高層ビル「ペトロナスツインタワー」、錫製品工場なども巡るなど、多彩な見学機会が設けられました。

クアラルンプール特有の大渋滞や、ホテル屋上から広がる夜景など、現地ならではの貴重な体験もありました。マラッカでは歴史的建造物や多文化が交差する街並みに触れ、首都クアラルンプールでは世界有数の高層ビル群と人々のフレッシュさやバイタリティに圧倒されるなど、参加者は各地で新鮮な刺激を受けました。

特に、HALTON 社様の現地従業員の皆様には温かくお迎えいただき、最新技術や製品ラインナップに関するご説明、工場見学会の実施など、多大なるご協力を賜りました。参加者一同、真剣に耳を傾け、見識を深める機会となりました。

本視察ツアーのご準備とご支援を賜りました HALTON 社様に、心より御礼申し上げます。

参加者にとって、大変有意義で心に残る視察となりましたことをご報告いたします。



事務局 etcetera (エトセトラ)

～ 家 族 ～

母、姉、兄、私と暮らす幼いころ。小学生2年生の時に両親が離婚し、母の厳しくも深い愛情に支えられながら育ちました。しかし、その厳しさに反発するように中学二年生で道を外し、家を出て友達の家を転々とする日々を過ごしました。

そんな荒れた青春の中、一つの出会いが人生を変えました。ディスコで出会った女性、後の嫁となる人です。付き合ってたった4か月ほどで授かった新しい命。周囲からは「子供が子供を産んで、上手くいくはずがない」と心ない言葉を投げかけられました。

職を転々としていた私に、嫁は不安で仕事を辞めることができず子育て・家事・仕事を一手に背負って立ち続けてくれました。その懸命な姿を見ながらもまだ頼りきりだった自分がいました。

転機は、第二子の立ち会い出産。命を懸けて子供を産もうとする嫁の姿を目の当たりにして、胸の奥が震えました「このままではいけない家族を守る男にならなければ・・・」そう強く決心した瞬間でした。

そこから私の人生は大きく変わりました。小さな仕事から覚悟を持って取り組み従業員や仲間を大切にし、少しずつ会社を成長させていきました。不器用ながらも誠実に、家族を思い、仲間を思い、支えてくれる全ての人を大事にして歩んできた結果、ついに法人を立ち上げることが出来ました。

私には何よりも大切にしていることがあります。それは、家族の中で「ありがとう」と「ごめんなさい」を大切にする事です。どんなに忙しくても、どれだけ疲れていても、この二つの言葉だけは欠かさないようにしています。

それが家族を守る土台であり、絆を深める一番の力だと信じているからです。

家族を大切にする事、それが私の揺るぎないモットーであり仕事の原動力でもあります。

どんな困難も家族への思いがあれば乗り越えられるその生き方を信じ続け今に至ります。



銀婚式セブ島にて家族写真



銀婚式家族と私母嫁のご両親



従業員家族と親睦会

written 山本 敦視

(所属会社：株式会社トータルメンテナンス)

編集後記

新年おめでとうございます。

2026 年の幕開けとなり、JADCA も新たな一歩を踏み出し業界の活性化を進めて行く所存であります。

先ずは、2月 5 日（木）に JADCA 臨時社員総会が開催されます。多くの会員企業の皆様と顔を合わせられる機会となりますので、是非、足をお運び頂ければと思っております。

本年も、有益な情報の発信や更なるチャレンジを進めて参りますので、会員企業の皆様におかれましては、協会に対しご理解とご協力を引き続きお願ひ申し上げます。

2026 年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

JADCA 臨時社員総会の予告

2026 年 2 月 5 日(木)

アートホテル日暮里ラングウッド

14：30～16：30 臨時社員総会

17：00～18：30 情報交歓会



JADCA 事務局

〒105-0004 東京都港区新橋一丁目 12-9

新橋プレイス 7 階 ビジネスエアポート内

TEL : 03-6274 - 6064 FAX : 03-6274 - 6065

E-mail : info@jadca.jp URL : <http://www.jadca.jp/>